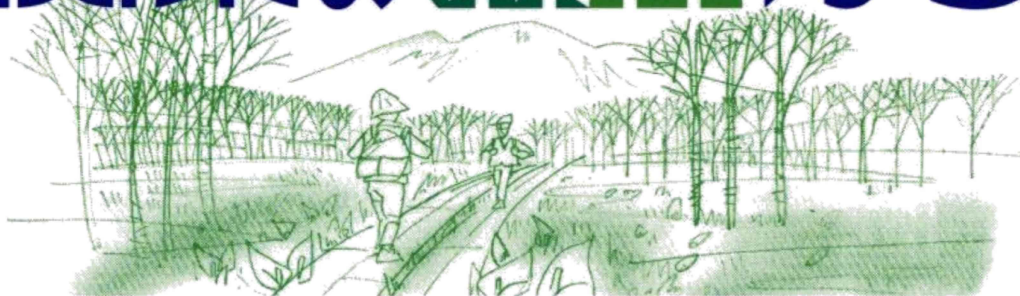


# 関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25  
TEL.027-210-1158  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



## 「小仙丈ヶ岳から富士山を望む」 山梨森林管理事務所

- ◎ 流木災害等を踏まえた治山対策について 治山課・・・2
- ◎ 「茨城の森林・林業について」みどりの女神レポート・・・4
- ◎ 高尾の森から 高尾森林ふれあいセンター・・・6
- ◎ 森づくり最前線 吾妻森林管理署 六合森林事務所 森林官 板井 芳樹・・・7
- ◎ ミレニアムの森式典2020を開催 技術普及課・・・8

# 流木被害等を踏まえた治山対策について

## 治山課

関東森林管理局では、平成29年7月に発生した九州北部豪雨等による流木災害を受けて、同年に崩壊土砂流出危険地区及び山腹崩壊危険地区等について、緊急点検を実施しました。

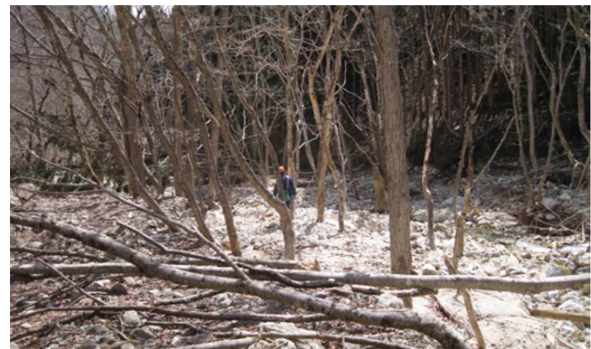
緊急点検では、①溪流沿いに土石流等で流木化するおそれのある立木等が多数存在していないか、②0次谷※等の凹地形及び溪床・溪流が荒廃していないか、①及び②と同一の地質が流域内に広く分布している等の観点から、治山全体計画や治山流域別調査等を活用し、緊急的・集中的に流木対策が必要な地区を抽出したところ、福島県内8地区、茨城県内1地区、栃木県内11地区、群馬県内19地区、千葉県内2地区、神奈川県内1地区、新潟県内10地区、山梨県内3地区、静岡県内5地区、合わせて60地区で流木対策が必要との結果となりました。

このため、平成29年度から概ね3年間で、この60地区において流木捕捉式治山ダムの設置等の流木対策を推進することとしました。

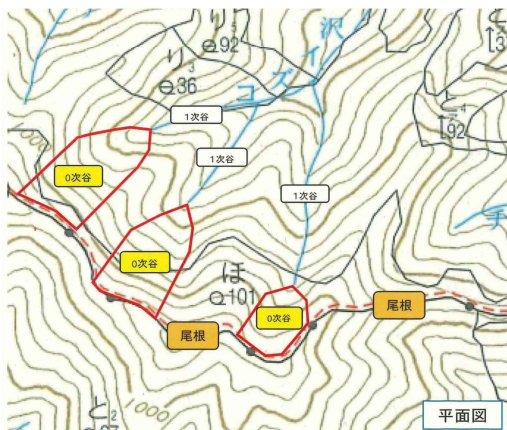
今回は、これまでに実施した対策等の一部について紹介します。

### 1. 流木捕捉式治山ダム等の設置

日光森林管理署では、施工にあたり計画箇所現状を確認するとともに、効果的な対策となるよう平成30年9月に局担当者等との現地検討会を行い、その検討の結果を踏まえ、溪間工5基を計画することとしました。昨年度は鋼矢板谷止工1基と鋼製スリット谷止工1基を施工し、完成しております。流木対策として定められた概ね3年の期間満了後の令和2年度以降については、「国土強靱化緊急対策」により、同地区において引き続き、流木対策を実行中であり、本年度はコンクリート谷止工を1基施工中です。



【計画箇所上流の溪畔林の状況(日光署)】



【0次谷:赤枠の流域】

※0次谷:1次谷(1次谷流域)より1オーダー下の流域



【鋼製スリット谷止工計画箇所(日光署)】



【参考:流木捕捉状況(天竜署)】



【H31完成:鋼製スリット谷止工(日光署)】

## 2. 流木化する可能性の高い

### 流路部の立木の伐採

流木対策としての立木伐採については、防災的観点、施工性の観点、溪流生態系の保全の観点等検討すべき課題が多く、本格導入に至っていないところです。

このため、実施にあたっての課題を全体で共有・整理し、実行につなげて行くことを目的に、令和2年2月26・27日、静岡森林管理署管内において、林野庁主催により各局の治山関係者ととともに学識経験者の指導を仰ぎながら、検討会を実施しました。

初日は現地において、①対象とする立木の選定、②施設計画との関係、③伐採木の処理（運搬方法等）、④事業発注につなげる課題等の視点で調査を行いました。2日目は、前日の現地調査の結果等を踏まえ、意見交換等を行いました。各局の担当者からは実情に応じた意見や質問があり、今後の実行にあたっての参考となる有意義なものとなりました。林野庁業務課からは、難しい課題であり今後も各局と連携しながら整理し、現場で使いやすいものとなるように進めていくこととしたい旨の話がありました。



【現地調査の様子(静岡署)】



【意見交換[スライド説明]の様子(静岡署)】

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つです。今後も治山事業の着実な実施により、地域の安全・安心な生活の確保に貢献して参ります。



## 日本で現在栽培されているきのこ Part2



### クリタケ (モエギタケ科 モエギタケ属)

10月下旬から12月上旬に広葉樹の伐根や立ち枯れ木の根際に束生する。カサは4cm～8cmで表面は栗褐色から赤褐色で白色の綿屑状の鱗片があります。柄は5cm～7cmで上部は薄黄色で下部はカサと同色でかすり模様がある。ヒダは始め白色で後に紫褐色になり、柄に上生する。



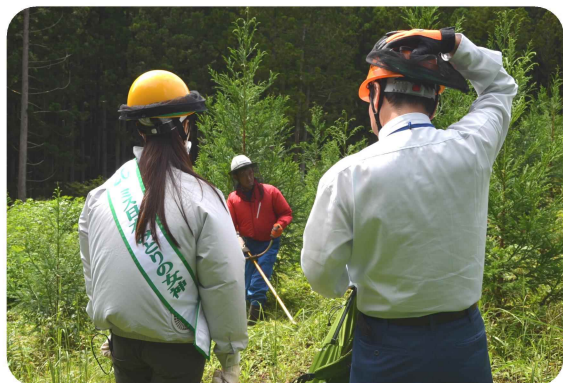
### ナメコ (モエギタケ科 モエギタケ属)

10月下旬～11月中旬に主にブナの切り株や倒木に群生する。近年は、栽培品種が野生に帰りコナラの立ち枯れ木や切り株・倒木にも発生する。カサは径4cm～10cmで黄土褐色から茶褐色で粘膜に覆われ著しい粘性がある。柄は2cm～4cmで栗褐色で粘性があり、上部に粘膜質のツバ(内皮膜)がある。ヒダは黄土色で柄に直生。



## 「茨城の森林・林業について」みどりの女神レポート

2020ミス日本みどりの女神『井戸川 百花』さんが、茨城森林管理署管内の国有林において、川上の森林整備が実施されている現場や、川中の原木市場、川下の製材工場までを新型コロナウイルス感染症防止対策を行った中で視察・体験レポートされましたので紹介します。



下刈り作業を視察

9月14日（月）JR常磐線「日立駅」に降り立ったみどりの女神は、早速、常陸太田市の国有林において、造林請負現場を視察され、炎天下で下刈作業をしている作業員に声をかけられ労をねぎらい、作業員が着用している「空調服」を着用して実際の着心地を体験されました。

また、下刈り作業中の女性に「男性ばかりの中に入り作業されて大変なことはありませんか？」など質問をされており、下刈り作業の大変さを痛感されていた様子です。



高性能林業機械を視察

太平洋を眺めながらの昼食後は日立市の国有林において、森林整備事業における製品・生産請負現場を訪れ、作業道作設～立木伐倒～集材～造材～運材～桟積みまで一連の作業を視察され、それぞれの工程で使用されている高性能林業機械等（フェラーバンチャザウルス、ハーベスタ等）の Cockpit に入り、機械の操作等を聞きながらオペレータの労をねぎらっておりました。

みどりの女神は、特に立木がチェーンソーで伐り倒される時の音、地面に倒れたときの振動にビックリしていた様子でした。

（ちなみに、この現場は列状間伐に伐倒された空間から、日立市街地が見え、その向こうに直ぐ海が見える場所で、他の国有林ではなかなか見られない光景でした。）

9月15日（火）には、茨城森林管理署会議室において岡井署長から茨城署の事業概要説明を受け、その後、若手職員のアドバイスを受けながら、蔓を丸く編み込んだものにヒノキやスギの葉や松ぼっくりなどの天然素材を使用しての「リース」づくりを体験され、器用にグルーガンで装飾されていました。リースづくりを体験された後、署の玄関前において、みどりの女神来訪を歓迎した全職員と共に写真撮影をし、署員の記念になったことと思います。



リースづくり



続いて、立木が伐倒された丸太がどのように活用されているのかを、宮の郷木材工業団地を視察し、茨城県森林組合連合会の原木市場で、県内から集まった丸太原木を出展者毎に桎積し原木がどのように販売されるのか説明を受け、丸太を1本ずつ販売するのではなく、桎積毎に販売することに驚かれていた様子でした。宮の郷木材事業共同組合では、集成材用ラミナ製材工場を視察され、丸太の皮がむかれ、製材される工程を視察しました。



その後、日立造船宮の郷木質バイオマス発電所では、端材をチップにしボイラで燃焼させ蒸気でタービンを回し発電する説明を受け、バイオマス発電の偉大さに驚いている様子でした。午後には、奥久慈自然休養林の遊歩道を一般の観光客に混じり散策し、鋭気を養い帰京されました。



集成材用ラミナ製材工場を視察



※今回「みどりの女神」は、2日間にわたって茨城森林管理署管内において、川上から川下までを視察・体験・レポートされました。（林野庁情報誌「林野-RINYA-」に紹介予定）

「みどりの女神」は、今年の1月から来年1月のコンテストまでの1年間が任期で、例年ですと、森林・林業に関するイベント等へ、全国の行政、事業団体からレポート等の依頼を受け、年間、百数十回にもわたるレポートをされるそうです。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響からレポートが激減している中での、茨城の森林・林業についてのレポートとなりました。



## 今月の表紙

### 小仙丈ヶ岳から富士山を望む（山梨森林管理事務所）

最奥に望む富士山は、山梨県と静岡県境に位置する言わずと知れた日本一の標高を誇る独立峰です。

山梨森林管理事務所が所管している野呂川地区民有林直轄治山事業地の管内には、日本第二位の北岳をはじめ第三位の間ノ岳が鎮座しており、仙丈ヶ岳や鳳凰三山（薬師岳・観音岳・地藏ヶ岳）という3000m級の名峰が連なっています。

昨年の台風の影響でアクセス道路が通行止めとなっており、今年は登山に厳しい状況ですが、一度は登ってみたい魅力的な山々です。





## 展示室・木工体験室

新型コロナウイルス感染症対策のため閉鎖していた展示室・木工体験室については、展示室6月10日(水)・木工体験室7月7日(火)より開館(土日祝日は休館)しています。夏休み中は、多数の親子様に来館いただきましたが木工体験室の「クラフト体験」は、新型コロナウイルス感染症対策のため利用者数を制限し、屋外で「火起こし体験」とさせていただくこともあります。皆さんの来館をお待ちしております。



木の実を選んで始めるぞ～(木工体験室)

展示室・木工体験室には、本郷林野庁長官(8月25日(火))、上大田関東森林管理局長(9月17日(木))が来館されました。



一人のできるよ～(火起こし体験)



来館された  
本郷林野庁長官



来館された  
上大田関東森林管理局長

### 祝 日本遺産認定 八王子市が都内初認定

れいしまんさん たかおさん  
**霊気満山 高尾山**  
～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～

高尾山国有林

霊気満山  
古くから霊山として崇められてきた高尾山。ここを訪れる誰もが、山内に満ちる「霊気＝生命の力」に癒やされる。

養蚕や織物が盛んだったことから「桑都」と称された八王子の発展の歴史を、霊山・高尾山への人々の祈りをテーマに語るストーリー「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が、日本遺産に認定されました。

日本遺産認定(令和2年6月19日)(東京都八王子市)

「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が日本遺産に認定されました。

日本遺産とは：地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定する制度です。

れいしまんさん たかおさん  
**霊気満山 高尾山**  
～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～

詳しくは  
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/takaosann/p026876.html>

資料提供：八王子市

# 森づくり最前線

吾妻森林管理署

六合森林事務所

森林官 板井 芳樹

私の勤務する六合（くに）森林事務所は、群馬県北西部の中之条町に位置し、約13,800㍊の国有林を管理しています。

管内には、数多くの温泉や野反湖、世立八滝（よだてはったき）、旧太子駅、赤岩集落といった観光の見どころがあり、夏場は避暑地として賑わいます。

中でも、野反湖は「野反自然休養林」として「日本美しいの森 お勧め国有林」に選定されており、群馬・長野・新潟の3県の県境に位置し、2,000m級の山々に囲まれた山岳、森林、草原などが一体となった自然景観を有していることから、「天空の湖」とも呼ばれています。中心に位置する野反湖（標高1,513m）を高山植物が可憐に彩り、抜ける青空や樹々の燃えるような紅葉を湖面に映し出します。

ちなみに、「六合」の由来は、入山・小雨・生須(なます)・日影・赤岩・太子(おおし)の六つの大字が合併し、「日本書紀」にちなんで「くに」と読んだと伝えられています。

旧六合村管内には、六合村の歴史を伝える物として旧太子駅があります。旧太子駅は、日本鋼鉄（株）群馬鉄山の鉄鉱石を運ぶ専用線「太子線」の始発駅として、戦時中の昭和20年に開業、昭和27年には旧国鉄に編入されました。昭和41年に群馬鉄山が閉山、昭和46年に太子線は廃線となりました。当時のホッパー棟やホーム、駅舎の復元を行い「旧太子駅」として平成30年4月より、一般公開を行っています。国有林から見つかった当時の鉄鉱石の運搬機なども展示されています。

六合森林事務所管内の国有林の大部分は標高1,000㍊以上に位置しており、管内は山が近く、勾配の急峻な山が多いため森林経営をする上では難しい地形的特徴を有していますが、人工林の多くはカラマツが植栽されています。これから秋の紅葉に時期なるとカラマツや広葉樹が色鮮やかに管内を彩ってくれますので、ぜひ六合森林事務所管内へお越しになっていただければと思います。

私は六合森林事務所に着任して6ヶ月になりました。まだまだ、歩いていない山も多数あり、これからたくさん山を歩き、地域についても勉強しながら六合の国有林を知りたいと思います。森林事務所勤務は初めてで経験不足な部分も多々ありますが、六合の森林をしっかりと次の世代へ引き継いでいきたいと考えています。



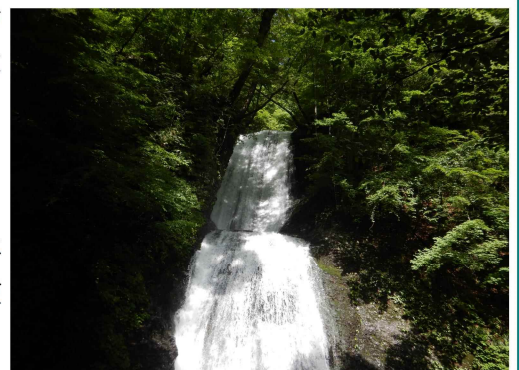
初夏の野反湖



旧太子駅



カラマツの造林地



紅葉が楽しみな世立八滝

# ミレニアムの森式典2020を開催

技術普及課

関東森林管理局では令和2年9月12日（土）新潟県妙高市内妙高高原メッセにおいてミレニアムの森式典2020を開催しました。

平成12年（2000年）に千年紀を記念して妙高市にある八貴山国有林において、森林と人との共生を普及・啓発しかげがえのない森と緑を二十一世紀へ引き継ごうと「ミレニアムの森づくり」を行いました。参加者は、植樹とともに「ミレニアムの森」に対する思いや、この森林の未来に向けたメッセージ、また、記念の品物等をタイムカプセルに託しました。

このタイムカプセルは、20年後に開封することとして、令和2年（2020年）がその年にあたることから、今年度式典を開催する運びとなりました。

当日は、当時の「ミレニアムの森づくり」の参加者とそのご家族、来賓を含め39名が参加しました。20年前から現在までを振り返るビデオを上映した後、妙高市入村市長、上越地域振興局 高橋農林振興部長、関東森林管理局 山口森林整備部長によりタイムカプセルが開封されました。参加者は20年後にあてた手紙を受け取り、会場は当時の思い出に包まれていました。

ミレニアムの森は周りからの広葉樹の侵入もあって、多様な樹種で構成された森林になっています。場所は妙高戸隠山国立公園内にあって笹ヶ峰自然休養林に設定されています。国民が安心して快適にその優れた自然景観にふれあうことができるように今後も整備していきます。



タイムカプセル開封の様子



「ミレニアムの森づくり」のパネル展示を懐かしく見ている様子



ミレニアムの森の現在

発行所 関東森林管理局  
編集 総務課  
TEL (027)210-1158  
FAX (027)230-1393